

かけはし



福島市立平田小学校 学校だより No.15

文責：校長 佐藤 裕子

❀ 第2回協働による学校づくりアンケートから

保護者の皆様、『第2回 協働による学校づくりアンケート』へのご協力、ありがとうございました。児童の皆様も保護者の皆様も「毎日楽しく学校に通っている」の項目が高評価（児童3.9※第1回と変わらず・保護者3.7※第1回より上昇／4段階評価）で、ほっとしているところです。12月以降も、全校児童が毎日楽しく学校に通い（全員の4を目指し）、一人一人が夢や志をもち、自分自身を磨き、鍛え、可能性を広げていくことができるよう教育活動にあたっていきたいと思います。以下は、主なアンケート結果です。



【児童】よくあてはまる項目 3.9

- 3) 毎日楽しく学校に通っている。
- 7) 生活科や総合的な学習の時間などで行う体験活動が好きだ。
- 13) 新型コロナウイルス感染に気を付けて生活している。
- 14) 安全に気をつけて登下校をしたり、学校生活を送ったりしている。
- 15) 当番、係、委員会などは、みんなと協力してがんばっている。
- 16) 友達を大切にし、思いやりの気持ちで接している。
- 22) ふるさと平田を誇りに思っている。

【児童】よくあてはまる項目 3.8

- 11) 学校のきまりや約束を守って生活している。
- 19) 家で、学校の宿題や勉強をしっかりとやっている。
- 23) 夢やなりたい自分をもっている。

この7つの項目は、第1回・第2回アンケートともに、高評価です。項目3)について個別に見ると、2名の児童が「4」→「3」ダウン評価、1名が「2」→「4」とアップ評価です。1名が「2」と回答しています。全職員で見守り、声かけを行っています。

【保護者】よくあてはまる項目 3.7

3) 子供は、毎日楽しく学校へ行っている。

【保護者】よくあてはまる項目 3.6

- 15) 学校は、子供や保護者の相談に親身になって応じている。**
- 19) 学校は、異年齢でかかわりながら学ぶ活動を通し、思いやりの心を育てている。
- 22) 学校は、適切に新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行っている。

【保護者】よくあてはまる項目 3.5

- 7) 子供は、学校のきまりや約束を守って生活している。**
- 18) 学校は、地域素材を活用した体験活動を積極的に推進している。

太字項目3)、15)、7)は、第1回より向上し、教育活動の成果と捉えます。項目13)は、児童・保護者ともに微減(-0.1)であり、情報モラル教育にさらに力を入れていきたいと考えます。2名の児童が「4」→「2」になっており、個別に対応・相談します。

また、項目12)は、第1回より微増(+0.1)ですが、児童も2.9と低い評価です。どんなお手伝いでも継続して行い、家族から「ありがとう」と言われることで、自己有用感も育まれると考えます。

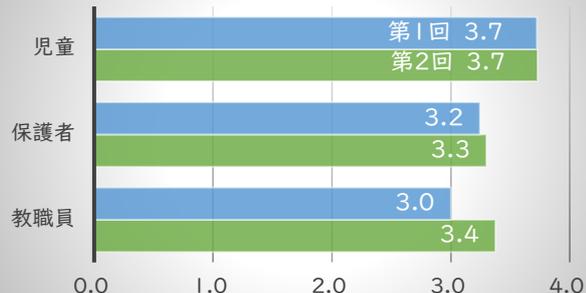
【保護者】課題と捉えている項目 2.6

- 12) 子供は、毎日、家の手伝いをしている。
- 13) ゲームやテレビ、インターネット、スマートフォン等は家のルールを守って行っている。

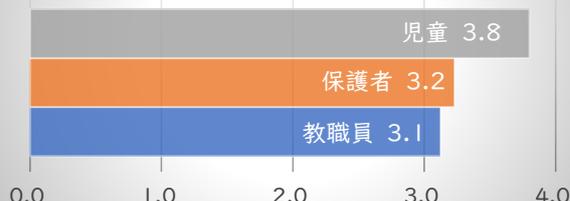
【保護者】課題と捉えている項目 2.9

- 8) 毎日、本を読んでいる。
- 11) 子供は、家で、自分から進んで宿題や勉強をやっている。

4) 「わかる・できる・楽しい」授業



23) 子供は夢をもち、なりたい自分になるために努力している



21) 体力向上に向けて努力している



子供たちの夢を叶えるために「学力向上」は必須であり、一人もとりこぼすことなく「わかる・できる・楽しい」授業を行いたいと努力しています。根拠を示しながら自分の考えを話したり、友達の考えを聞いて自分の考えと比べたりする学習活動や、個に応じた学習を強化していきます。

2学期は「校内持久走記録会」や火・木曜日の業間「走れ走れタイム」に、自己目標を持って挑む子供の姿が見られました。たくましい心と体づくりに向けて継続指導していきます。

ふくよみの日の実施、図書委員のイベント開催、図書ボランティアの方や学校司書の先生の読み聞かせ等「読書活動の充実」に学校全体で取り組んでいるところですが、児童の評価は「毎日、本を読んでいる(前回比-0.2)」、「本を読むことが好きだ(前回比-0.3)」と下降し、保護者評価も 2.9 にとどまっています。いつも本をそばに置き、読書を楽しむ子供を育てていきたいと考えております。ご家庭でも「今、どんな本を読んでいるの?」「感想を教えて」等のお声かけをよろしく願います。

9) 本を読むことが好きだ



【教職員】よくあてはまる項目 3.9

- 1) 学校は、教育活動(子供たちの様子)を懇談会やHP、おたより等で伝えている。(※)
- 2) 学校は、子供や保護者の相談に親身になって応じている。(※)

【教職員】よくあてはまる項目 3.6

- 8) 学校は、読書活動を推進している。

【教職員】よくあてはまる項目 3.4

- 3) 「わかる・できる・楽しい」授業を行っている。(※)
- 11) 地域素材を活用した体験活動を積極的に行っている。
- 12) 異年齢でかかわりながら学ぶ活動を通し、思いやりの心を育てている。(※)

【教職員】課題と捉えている項目 2.9

- 7) 子供に確かな学力を身に付けさせるために、授業以外でも積極的に指導している。
- 14) 自分の健康に関心をもたせ、一人一人の自己管理能力を育てている。

(※)印は第1回より向上している項目です。

項目24)「学校は、教育活動(子供たちの様子)を懇談会やHP、おたより等で伝えている」の評価にズレ(教職員3.9/保護者3.3)が見られます。さらに、対話と発信に努めてまいります。保護者の皆様の評価項目26)「子供のことで気になることや心配事があれば、すぐに学校に連絡し相談している※3.2 前回比-0.1」が微減であることを受け止め、信頼関係の構築に努力してまいります。保護者の皆様におかれましても、項目25)「子供が話す学校の話(先生や友だちのこと等)をよく聞いている※3.4 前回比-0.1」となっておりますので、さらにご家庭において、子供の声に耳を傾けていただければと思います。なお、「自由記述」していただいたことについては、個別に対応できることから対応してまいります。ご協力ありがとうございました。